

授業改善等に関する報告書（2023年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Japanese Linguistics	山内 博之	Google翻訳を使って毎週、英文を書いてもらっていましたが、英語を書くことに少しでもなじんでもらえたのなら、とてもうれしいです。また、書く内容さえはっきりしていれば英語は書ける、ということも感じてもらえたのではないかと思います。特に専門分野の勉強を通して、人に語れる何かを持ってもらいたいです。
仮名書法 2	伊藤 文生	この授業について、以下のようなコメントをいただいた。 「手本を見ながら書くことで、手本のように書くことの難しさや時には慎重になりすぎずに思い切って書いてみることの重要性を学んだ」「授業を通して、いつのまにか仮名文字を読むようになっていたことが嬉しかった」 「書道展や美術館に向いた際に、今まではよくわからなかった展示物の内容も、少しは把握することができ、より楽しむことができた」「読めるようになると、じっくり見る気になるもので、今まで見えてなかった細かい筆運びや挿絵に気づくことができて面白かった」「もっと美術館や展示会に向いて、実物を見ることで書道や大和絵の知識を深めていきたい」「これからは、今回学んだことを生かして、変体仮名で書かれている文章を、翻字なしで読めるようにしたいと思った」「教師の立場になった時は、学んだことを生かして変体仮名についても生徒に教えられるようにしたい」「授業中に筆の流れや字母について集中して勉強できたため、帰ってからすぐに書く練習に取り組むことができた」「くずし字も自信をもって読めるようになりました」「今後も書道に興味を持ち、展覧会などにも足を運んでみたい」「芸術作品を直接目で観察して、自分自身の教養をさらにアップさせたい」。以上。 受講生それぞれに有意義な授業であったと考える。
漢文学基礎演習2	秋谷 幸治	昨年度の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問(例えば孟浩然「春暁」詩に関して、春の到来を感じる風物を挙げてもらうなど)をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると、「漢詩には入声など様々なルールがあると知って漢文についての知識が広がった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。今年度は平仄などの漢詩の形式上のきまりについて、じっくり教えることができた点が特によかったです。入声字が使われた地名や熟語を探すクイズを何回か出しましたが、みんなが興味を持って取り組んでくれました。
近現代文学演習 2	ブルナ, ルカーシュ	少人数の授業のため、学生ひとりひとりが自分の「読み」を説明する時間が多く、活発な意見交換やディスカッションができたと思います。作品を中心に、ふだんあまり考えることがない「放浪・漂泊」というテーマについて様々な観点から考察し、21世紀の世界においても非常にアクチュアルなテーマであることを確認できたのではないかと思います。
近現代文学演習 2	大原 祐治	多くの履修者にとって読み慣れない戯曲形式の作品を取り上げる演習授業でしたが、作品と向き合い自分なりの思考を論理的に構築した発表を展開することができていました。討議の場面でも、毎回積極的に自らの考察や疑問点などについて発言することのできる履修者が少なからずおり、活発な議論の展開されることが多かったようです。こうした経験を次年度の卒業論文執筆に活かしてほしいと思います。
近現代文学演習 2	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 概ね好評価を頂き安心いたしました。 ただ、改善すべき点について、今後も改善していきます。 また、自身の成長を感じることが出来るような授業の工夫をしていきたいと思えます。
近現代文学基礎演習 2	大原 祐治	時間をかけて大正期の長編小説を精読することを求めた授業でしたが、発表担当者は毎回、当時の文化状況まで丹念に調べた上で、自分たちの読解を提示することができていました。指名されていたコメンテーター以外の参加者からの発言が少なかったことが惜しまれますが、3年次の演習授業に向けてよい訓練ができたのではないかと思います。
近現代文学研究 b	ブルナ, ルカーシュ	今年的一年、お疲れ様です。後期は日本文学を離れ、近代の外国文学の中で日本がどのように描かれているか、とくに女性作家の作品に注目しながら考えてきました。文化交流や多文化共生などを考えるにあたって必要となる様々な視点をこの授業を通して確認できたのではないかと思います。
近現代文学研究 b	大原 祐治	毎回1編の小説を取り上げるという授業でしたが、授業後に提出を求めたコメントからは、多くの履修者が当該作品をきちんと通読した上で授業に臨み、講義内容をふまえて自分なりの考察を展開することができていたようです。とりわけ終盤の授業では現代作品を取り上げましたが、特にこれらの作品に関心をもった履修者が多かったようです。この授業をきっかけに、さまざまタイプの現代文学に接しつづけてほしいと思います。
近現代文学史 b	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 概ね好評価を頂き安心いたしました。 ただ、オンデマンドという授業の形態について、私の方でまだまだ工夫の余地があると感じました。 今回の皆さんの評価を参考に、よりよい・楽しい授業をしていけるようにしたいと思います。
近世文学演習 2	佐藤 悟	満足度が高かったようで、良かったと思います。
近代文学基礎講読 b	ブルナ, ルカーシュ	みなさん、今年一年おつかれさまです。有島武郎の作品は決して読みやすい、わかりやすいものばかりではありませんが、皆さんは授業で、またはmanabaの課題を通して、その文学の様々な問題について積極的に考えてきて、自分の読解力を大きく鍛えてきたと思います。
近代文学基礎講読 b	大原 祐治	月曜1限の授業でしたが必修科目だったこともあり、毎回きちんと出席する履修者が多かったようです。これまで(名前だけは知っていても)読んだことのない作家を取り上げましたが、多くの履修者が興味をもって積極的に授業に参加していることが、授業後のコメントから窺えました。

【2023（後期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
古典文学基礎講読 b	池田 三枝子	95%以上の方が授業が理解できたと回答し、9割以上の方が成長を実感できたと回答しているのは素晴らしいと思います。また、8割以上の方がこの分野をさらに学びたいと回答しているのは、この分野に対する理解が深まった証です。この学修成果を今後の学びに繋げて頂けるよう願っています。
国語学演習 2	山田 里奈	この授業では、各自、いくつか挙げた日本語学の調査方法から一つ選んで、自分で調査してみるという経験と、そこから分析と考察を行なう経験をしてもらいました。それぞれの発表で、毎回、面白い考察結果が示されていました。毎回のコメントシートを読んでも、一人一人が自分なりの考えや発見をしていたことが伝わってきました。出席の取り方については、検討します。
国語学概論 b	山田 里奈	1限の早い時間からでしたが、プリントを見ても、試験結果を見ても、積極的に取り組んでいる人が多かったと思います。共有する時間を取りたいという程、回収プリントに書いてくださっていた各自の意見は、よく考えられていて面白かったです。日々の日本語を考えるきっかけになればと思います。スライドを回すタイミングが早かったというご指摘がありましたので、気を付けるようにします。レスポンの提示をしなくてもいいくらい出席率がいいと判断したため、途中からほぼやめてしまいましたが、説明と齟齬が生じてしまいました。出席の取り方については、検討します。
国語学基礎演習 2	山田 里奈	この授業では、日本語学とはどうやって調査するのか、どうやって分析と考察を行なうのかというところを知ってもらうということで進めました。受講生が多く、個人発表の時間が短くなってしまいましたが、各自、様々な観点から調査と考察を行なっていて、毎回、面白い結果を示してくれていたと思います。遅刻者までをレスポんで把握し、コメントシートで欠席者を把握していましたが、出欠の取り方については、検討するようにします。
国語学研究 b	吉田 雅子	アンケートへの回答ありがとうございました。今後の授業に役立てて行こうと思います。この授業で学んだことを今後活かしていただければ願っています。
国語史 b	山田 里奈	日本語学のいくつかの分野について、特に、近世以降に焦点を当てて授業を進めました。自分が興味を持った分野については、論文等を探して、知識を深めてもらえたらと思います。毎週の小テストの提出状況や期末レポートの内容を見ても、積極的に取り組んでいる人が多かったと思います。
国文学マーケティングプロジェクト	深澤 晶久	資生堂セッション、そして叶匠寿庵セッションと、皆さんが真摯な姿勢で授業に臨んでいただいたことに心から感謝申し上げます。とりわけ寿長生の郷への視察研修については、主体的に取り組まれていた姿が印象的でした。皆さんが学ばれている国文学が、とても深い教養(リベラルアーツ)として、社会に出られてからも役に立つ学問であることをご理解いただければ幸いです。いよいよ就活の本番に向けて動き出すことと思います。ご質問などがあれば、お気軽にお声をおかけください。ありがとうございました。
国文学概論 b	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。概ね高評価を頂き、安心しました。ただ、成長を実感できていない人がいることが気がかりです。この点については、今後改善していきたいと思います。
国文学概論 b	舟見 一哉	一年時のオンデマンド講義ゆえに心配があったが、概ね満足度は高かったので安心した。来年度は対面が変わる予定であるので、今回の講義資料をすべて作り直し、さらに分かりやすいものに変更したいと思う。
国文学概論 b	佐藤 悟	12のコメントは皆嬉しく思われます。自分で考える力をこれからも付けてください。
上代文学演習 2	池田 三枝子	回答者数が少ないので難しいところですが、100%の方が成長を実感しているのは喜ばしいことです。課題に対する取り組みの促進が必要であるというのが反省点です。
上代文学史 b	池田 三枝子	授業について、理解できなかったという回答がなく、90%の方が「自身の成長が実感できた」「専門的に学びたい」とする回答しているのは喜ばしいことです。ただし、週あたりの事前事後学修が1時間未満の受講生が6割を越えているので、課題に対する取り組みの促進が必要であるというのが反省点です。
中古文学演習 2	舟見 一哉	非常に高い評価を得られたことをありがたく思う。受講生の履修態度が非常に良く、意欲的にレジュメ作成と口頭発表、質疑応答してくれたため、自然と難易度が高くなった。そのため反対についていけなくなってきた学生もいたので、そこもすくいあげながら講義をしていきたいと思う。
中古文学演習 2	菅原 郁子	本授業の到達目標は、通年で古典文学の具体的な研究文献の検索・収集の方法を知り、問題テーマを自ら発見できる力を身につけることであり、凡そ達成出来ていたと思います。今後は、卒論やより専門的な授業課題が多くなると思います。本授業で培った平安時代の古典文学・文化史の理解と考察を深める力を最大限に活かしてさらに視野を広げて欲しいと思います。
中古文学基礎演習 2	舟見 一哉	大変盛り上がった授業だったと感じている。学生の主体性も高く、自由に発言できていた。参加したみなさんに感謝申し上げたい。なお、コメントの方法（学籍番号を入れるかどうか）については再考したいと思う。
中古文学研究 b	舟見 一哉	アンケート結果に差が顕著であった。とくに難易度に関して意見がわかれており、難しすぎるという意見が見られた。この点は深く反省しなければならない。もっと分かりやすいレジュメをつくり、音声ファイルもさらに工夫をして、満足度の高いクオリティにしたいと思う。

[2023 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中古文学史 b	庄司 敏子	この授業の狙いは、中古の文学作品を幅広く扱い、縦横の繋がり（影響関係）を学ぶというものであった。理解度は概ね良好で、興味を持って学んでくれた学生が多かったように見受けられる。一方、多くの作品を扱わなければならないため、駆け足で進めた箇所があった点は大きな反省箇所である。聞き取りやすさのため、動画の音声編集もある程度は必要であった。また、質問には毎回のフィードバックで十分に回答できたと思うが、掲示板の効果的な使用ができなかったので改善したい。
中国文学演習 2	秋谷 幸治	他の担当授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば豚、牛、鼠、虎などの説話について、各動物が使われたロゴやキャラクターを挙げてもらうなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると「中国文学の知識がついたのはもちろんだが、それだけでなく卒論のテーマ設定のヒントなどを学ぶことが出来た」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度は本授業は担当しませんが、他の担当授業の作品読解において、本授業で教えたような物語の分析方法を教えたいと思います。
中国文学史 b	秋谷 幸治	昨年度の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間とをメリハリをつけて設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば白居易の詩風の変化に関して、作風が変化した身近なアーティストを挙げてもらうなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。授業アンケートの結果を見ると「授業を受けて、中国の詩の面白さがわかってきました」といった肯定的なコメントを複数もらいました。概説の時間がどうしても長くなり、作品そのものをじっくり読む時間があまりとれなかったため、これについては来年度の授業において改善したいと思います。
中世文学演習 2	大橋 直義	皆さんの発表資料を作る熱意は伝わってきましたが、そもそもの対象設定が良くなかったのではないかと感じています（前半の諸本比較、後半のテーマ研究というところもその転換がうまくいきませんでした）。そのために授業内容に不満を感じた人もいたかと思います。この点、改めていきたいと思っています。
中世文学基礎演習 2	大橋 直義	たった2人の授業でしたが、とてもがんばって取り組んでくれたと思います。その成果は、今後の卒論執筆などにあらわれてくると思います。ぜひ今後とも多めに研鑽してください。
中世文学研究 b	大橋 直義	様々な資料・映像が錯綜する、難しめの授業内容であったにも関わらず、よく理解できていたのではないかと思います。とはいえまだまだ分かりやすくすることはできたのではないかと思いますので、次回以後に活かしたいと思っています。
中世文学史 b	大橋 直義	ふだんあまりやらない「本文講読スタイル」の授業を行ったので、もしかしたらつまらないかと思っておりましたが、概ねよく理解してくれていたようでとてもよかったかと思っています。皆さんの小レポート・期末レポートの内容、とてもよく書けていたことから、授業にしっかりと取り組んでくれたことが分かりました。
特殊演習 2	舟見 一哉	非常にスムーズに進めることができた。今後はZOOMも積極的に利用していきたい。
特殊演習 2	山田 里奈	各自、何かしらの新しい発見ができていました。夏休みの調査や表・グラフの作成等、かなり大変だったと思います。そこからどうデータを読み取り、執筆していくのかというのも大変だったと思います。全員が乗り越えて、素晴らしい卒論を書くことができたと思います。
特殊演習 2	棚田 輝嘉	回答ありがとう。好評価を頂き安心いたしました。ただ、回答者が少ないので、本当に良かったのかどうか、不安ではあります。卒業論文という大きな授業ですので、最後の関門をきちんと修了したという実感が得られるよう、今後も工夫していきたいと思っています。
特殊演習 2	ブルナ, ルカーシュ	みなさん、4年間の大学生活、お疲れ様です。皆さんよく頑張って、優れた卒業論文を書きました。卒業おめでとうございます。これからも頑張ってください。
特殊演習 2	池田 三枝子	大学4年間の学びの集大成である卒業論文を書くためのこの授業で、100%の方が「意欲的に取り組んだ」「総合的に判断して満足した」と回答しているのは、大変喜ばしいことです。卒論執筆で習得したものを社会に出てから生かして頂けるよう願っています。
特殊演習 2	大原 祐治	卒論の執筆は最終的には個人の責任に帰する孤独な作業ですが、毎週授業という形で集まり、お互いの進捗状況を確認し合うことで、うまくペース配分をすることができていたようです。授業以外の場でも、教員による添削の機会をうまく活用していた履修者が多くいました。全員が脱落することなく卒業論文を完成させることができたことが、この授業の最大の成果です。
特殊演習 2	山内 博之	卒業論文の執筆、お疲れさまでした。今年のゼミ生は本当にレベルが高かったと思います。話がうまくかみあうので、指導が楽しかったし、卒論の内容も興味深いものが多く、私も楽しかったです。卒業してからも、頑張ってください！！

[2023 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本語教育学演習 2	山内 博之	毎年、受講者数が多いため、特定の人が発表するという形式をとらず、全員で1つの課題を考える、というスタイルで授業を進めています。しかし、その方法がいいのかどうか、あまり自信がありません。受講者が多い演習の授業はどのように進めていくのがよいのか、今後も考えてみようと思います。
日本語教育文法-中級-	山内 博之	期末試験の成績を見ると、できている人とできていない人がはっきり分かれていたように思います。毎週、次の週の予習になるような課題を出していましたが、その週の資料を確実に身につけてもらうために、復習になるような課題も出すべきではないかと思いました。